

大型電子計算機 CDC3600 システムの導入と運営に
関する経緯について

昭和 43. 6. 7 (金)

本電算機の導入は、昭和 39 年伊藤忠電子計算サービス㈱
(伊藤忠商事㈱の全額出資の子会社) から、原子力コードの
開発ならびに会員会社の共同利用に特別の条件で提供したい
との申入れにはじまつた。

原産としては、本電算機が当時の水準からすれば卓抜した処
理能力を有する点も考慮し、原子力開発の推進に寄与するこ
とを目的として、この申入れを受けることにした。このよう
な趣旨から、関係者の協力により昭和 40 年夏特段の輸入許
可が伊藤忠商事㈱に対して与えられ、昭和 41 年 1 月据付け
と整備を終り、それ以降原産電算機室が前記伊藤忠電算㈱の
協力のもとに今日まで運営を行つてきた。この間本電算機の
共同利用により本事業から若干の収入を得るとともに、関係
機関の協力により数十種の原子力コードの開発、整備を行う
などの成果をおさめてきた。

このほど、伊藤忠電算㈱からこの電算機の提供に関する現
存諸契約を解約したい旨の文書による申入れがあつたので、
原産としては、国内における電算機の開発と設置の現況等を